



三芳みらい
拔井尚男
ぬくい ひさお

第5次総合計画の進捗状況について 効率的な行政運営と更なる財政基盤強化を



問 安定的な税収確保の進捗のための、企業誘致について具体策はあるのか。

答 **総合調整幹** 企業誘致は固定資産税や法人住民税による税収増が期待されるため、平成29年度は企業立地相談窓口を設置し企業立地促進を図っていく。

問 埼玉県の企業誘致政策と連携は行われているか。

答 **総合調整幹** 平成28年度企業誘致可能な土地の絞り込みをした。その可能性について県の企業立地課と連携し、具体的な誘致に関する企業情報とリンクし企業誘致を進める。

問 受益者負担の適正化は進捗しているのか。

答 **政策推進室長** 下水道使用料や国民健康保険税及び扶助費の見直し等により平成28年度末には1億円程度の効果が出ると見込んでいる。今後は施設使用料の見直し等、他の分野に対しても研究検討を進めていく。

問 ふるさと納税に関しては返礼品の過剰(金額的に)等の問題が浮上しているが今後の当町の取組みは。

答 **政策推進室長** 特に首都圏においては入るべき税が減少するが、普通交付税交付団体は国より補てんがある。不交付団体の当町では補てんがないため多くの減収となる。主旨を踏まえて今後も取組んで税収確保に努める。

問 アウトソーシング(民間委託)による業務改革に対する考えは。

答 **政策推進室長** 調査研究中であるが人的側面やコスト面において課題が多い。

問 財政スリム化を図るために窓口業務改革(民間委託)を検討すべきでは

答 **政策推進室長** 小さな自治体では課題も多い。他自治体の事例等を研究し窓口業務改革の検討を今後も進めていく。



公明党
内藤美佐子
ないとうみ さこ

働き方改革と地方創生の推進 平成29年度政府予算を生かした取組みを

問 平成29年度、町内保育園や介護施設で働く方々の処遇改善は行われるか。

答 **こども支援課長** 認可保育所の保育士賃金は、勤続年数等により町は公定価格に上乘せして支給する。

答 **健康増進課長** 介護職員には月額1万円相当賃金が増えることになる。

問 3年目を迎える地方創生への政府予算「地方創生推進交付金」への対応は。

答 **政策推進室長** 補助率が2分の1で町の財政負担もあり国の求める事業内容もハードルは高いが、先駆的で効果的な事業を検討し交付金の活用を考える。

問 地域経済を牽引する事業者を応援する「地域未来投資促進法」への対応は。

答 **政策推進室長** 国の動向を注視し具体的な内容や基準が明らかになれば、情報を収集し検討を進める。

三芳スマートICフル化

問 平成29年度事業予定は。

答 **総合調整幹** 整備箇所が準備が整い次第、順次用地交渉及び工事に着手予定。

問 将来的には周辺地域の土地利用を見直し、町の中心地として整備しては。

答 **町長** 大胆な提案であるが、三芳スマートICフル化や(仮称)三芳バザール賑わい公園の整備を進める延長線で考えていく。

運転免許証返納支援

問 高齢者アンケートで8割が運転免許証返納に消極的な理由をどう考えるか。

答 **自治安心課長** 生活上の交通手段確保が、返納を消極的にしている理由だ。

問 高齢者の移動手段として、総合病院等の送迎バスや民間バスのルート増設及び変更等を働きかけては。

答 **政策推進室長** 平成30年度開始に向け民間バスのルート変更を協議中だ。



町内を走行する民間バス

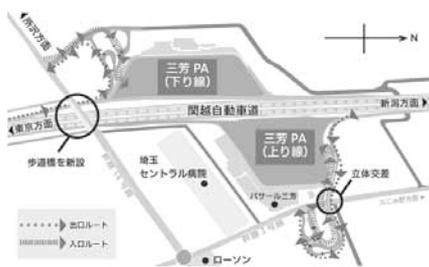


三芳みらい
細谷 三男
ほそ や みつ お

三芳スマートICフルインター化2年間全力で 歩道幅員を自転車通行可能な3mに



- 問** 用地交渉に向けた現在の進捗状況は。
- 答** **総合調整幹** 主に詳細設計、用地測量等を実施している。平成28年度実施予定だった物件調査等の一部について、繰り越しをしているが、着実に進んでいる。
- 問** 歩道の計画幅員は2mだが、アクセス道路であるのに狭いと思うが根拠は。
- 答** **総合調整幹** 当初計画は、周辺道路環境と同様の2mだったが、現在は、自転車歩行者道としての幅員3mで見直しをしている。
- 問** 東永久保1号橋に架かる予定の歩道橋と、14号線の歩道取り付け方法は。
- 答** **総合調整幹** 自転車通行が可能で、幅員3mの歩道橋を架けて14号線との連続性を確保したい。
- 問** 幼稚園前道路への大型車進入規制と措置方法は。
- 答** **総合調整幹** 区画線変更による歩行帯設置、看板とポストコーンにより通行抑制の対策をしたい。
- 問** 歩道工事の詳細は。
- 答** **総合調整幹** 歩道形式は、近辺の歩道と同様なフラット形式を予定している。



三芳スマートICフル化計画
平面図（概略）

- 問** 埼玉県土地開発公社と連携しての用地買収とあるが、具体的な連携内容は。
- 答** **総合調整幹** 税務署との事前協議や登記事務等において、連携を進めている。
- 問** (仮称)三芳バザール賑わい公園の予定位置は。
- 答** **総合調整幹** 基本的な考えとしては、三芳PA周辺としている。
- 今後の道路整備事業について**
- 問** 町道の道路拡幅買収価格の見直しをする時期では。
- 答** **道路交通課長** 平成14年に「三芳町道路用地取得基準」を改定している。15年が経過していることもあり、見直しが必要かどうか検討したいと思う。



公明党
岩城 桂子
いわ き けい こ

地域共生社会への取り組みを 第7次介護保険事業計画策定は



- 問** 地域包括ケアシステムの構築で介護予防や重度化防止の取り組みを行っているが、目標数値があるのか。
- 答** **健康増進課長** 今後出していきたい。
- 問** 地域ケア会議の開催状況とデータの把握は。
- 答** **健康増進課長** 医師や専門家との月1回の開催で自立支援を促している。今後統計を取っていきたい。
- 問** 介護離職者が年間10万人と推計され、子育てと介護のダブルケアも25万人を超えるが当町の取り組みは。
- 答** **健康増進課長** 地域包括支援センターで相談を受け、デイサービスでの介護者のサロンを開催している。
- 孤独死の防止対策は**
- 問** 平成28年度5名の方が孤独死されているが対策は。
- 答** **福祉課長** 民生委員やケアマネージャー、配食サービス、近所の見守り等がある。
- 問** 高齢者の安心に繋がる緊急時連絡システムの設置世帯数と利用状況は。



新開公園の和式トイレ

- 問** 新生児難聴検査の公費助成の推進はどうか。
- 答** **保健センター所長** 早期発見が大事だと思う。近隣市を研究していきたい。
- 問** 高齢者の難聴チェック確認導入の進捗は。
- 答** **保健センター所長** 早期発見に有益で今後の課題としていく。
- 問** 町長 難聴対策を施策の中に活かしていきたい。
- その他の質問**
- 問** 公共施設のトイレの洋式化について
- 答** **福祉課長** 316世帯30件の通報10人搬送された。
- 問** 民生委員の高齢者見守りに救急医療情報キットの更新がある。配布状況は。
- 答** **福祉課長** 1086本配布している。更に民生委員に周知していきたい。
- 難聴対策について**



「三芳町に住みたい」選ばれるまちづくりを 都市計画マスタープラン・総合計画の進捗は



公明党
小松伸介
こまつしんすけ

問 3つの土地区画整理事業の終了後、計画している土地区画整理事業の進捗は。

答 **都市計画課長** 藤久保 東地区土地区画整理事業・藤久保唐沢地区土地区画整理事業が計画にあるが、地権者の意向調査や役場農政担当との調整を図りながら慎重に進めていきたい。

問 第5次総合計画の土地利用構想図では役場周辺を住居系にするとしているがどのように進めていくのか。

答 **政策推進室長** 現在行っている土地区画整理事業が終了した後、他のエリアとの優先順位を考えながら、担当課と協議を進めたい。

問 新たな公園整備の計画の中で、県内一長いローラー滑り台や大型のアスレチックの設置といった夢のある公園を検討出来ないか。

答 **都市計画課長** 公園は夢のある場所であった方が良くと認識している。少しでも実現出来ればと考える。

問 住居表示の検討状況は。

答 **政策推進室長** 庁内の検討委員会を立ち上げ、基本方針策定に向け2回委員

会を実施。実施する地域の基準等を調査研究している。

問 少子高齢社会に向けたコンパクトなまちづくり「立地適正化計画」策定は。

答 **都市計画課長** 他自治体の事例も参考にしながら調査研究を進めていく。

教育行政について

問 全ての子供を対象とした学習支援等、放課後子供教室を当町でも実施しては。

答 **生涯学習課長** 状況変化を注視しながら研究する。

問 中高生を対象とした地域未来塾を実施しては。

答 **学校教育課長** 実施場所や開催時間、指導者の確保等の課題がある。先行事例を参考に、研究していく。

答 **教育長** 淑徳大学と連携し学習支援を進めたい。



三芳町第5次総合計画・三芳町都市計画マスタープラン



大規模災害時の瓦礫処理に関して 災害瓦礫の2次置き場・分別場所の確保を



三芳みらい
山口正史
やまぐちまさふみ

問 過去の大規模災害時では、瓦礫の処理が後の復興作業に大きな影響を与えたと言われている。町の地域防災計画では、大規模災害時に発生した瓦礫の仮置場は運動公園となっている。瓦礫の保管場所は運動公園だけか。

答 **環境課長** 平成28年稼働停止した上富の清掃工場跡地の利用計画が未定で、補完的な仮置場として確保する事を考えている。

問 ふじみ野市・三芳町環境センターの役割は。

答 **環境課長** 選別された可燃物及び粗大ゴミの処理を行う。コンクリートや家屋の混在廃棄物などは処理されない。

問 ふじみ野市・三芳町環境センターに持ち込むには瓦礫を分別することになるが、分別作業には重機が必要となり、運動公園で分別作業を行うのか。

答 **環境課長** 分別及び積替作業が必要になる。現状に於いては清掃工場跡地を確保したい。

問 町では清掃工場跡地及び旧ふれあいセンター跡地

を含めて、提案型の跡地利用計画を進めているのである。

答 **財務課長** 清掃工場の利活用に関する、対話型市場調査を行っている。

問 町として瓦礫の処理を行う場所の確保が必要では。

答 **環境課長** 災害廃棄物は自区内処理が原則になっている。災害廃棄物の仮置場、分別及び積替機能のある場所の確保を検討する必要があると考えている。

大型倉庫火災に関して

問 上富の大型物流倉庫の火災による平成29年度の税金に対する影響額は。

答 **税務課長** 具体的な金額は言えないが、町税の1%〜2%程度の減収になると予測している。





三芳みらい
細田三恵
ほそだみつえ

新学期を迎えるための環境整備について 教育施設の早期な改修計画を



問 三芳町HP記載の「通学路安全点検対策箇所」13か所を変更しない理由は。

答 道路交通課長 小中学校から新規に危険箇所はあがってきている。今後は対策済の最新情報を更新する。

問 通学路安全点検対策箇所13か所中6か所の半分が竹間沢小学校校区だがその見解は。

答 道路交通課長 富士見市、志木市、さいたま市への抜け道として利用されている。

答 町長 これから地域の方々と話し合っていきたい

問 通学路の街路灯の設置がまだまだ不十分だが、中学生へも防犯ブザーの携帯を推進しては。

答 学校教育課長 中学生が防犯ブザーを携帯する割合は少ない。登下校時等に自分の身の安全を守るためには、機会をとらえて生徒又は保護者に携行を呼びかけていく。

問 中学校部活動に関するグラウンドの整備、備品についてはどの様な対応か

答 教育総務課長 グラウ

ンドに関しては、砂を撒いたり、役場のトラックにて表面を削りならす等行っている。

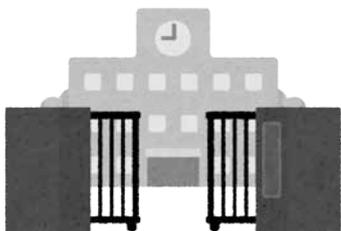
答 学校教育課長 備品については、体育の授業と共用できるものは教材備品として対応。ボール、ゴールネット等は消耗品費として購入している。

問 小学校、中学校におけるトイレの異臭及び和式から洋式に変更する要望に対しての具体的な計画はあるのか。

答 教育総務課長 校舎の老朽化により日常清掃や専門業者だけでは追いつかない。全体的な改修計画が必要と考える。今後検討していきたい

その他の質問

三芳町風対策について



富士見市・ふじみ野市との合併協議の考えは 単独町政維持のために自主財源の確保施策を



鈴木淳
すずきじゅん

問 平成15年の住民投票の結果、実現されなかった2市1町の合併だが、その後も消防や警察など広域では同じ生活圏である。今後の三芳町の将来像と合併問題をどう考えるか。

答 町長 今の三芳町を取り巻く課題は数多くある。それを解消するための一つの選択肢として合併という手段もあると思う。

問 合併によるメリットは。

答 政策推進室長 一般的には広域的なまちづくりと施策の展開による効果的な施設整備と行政サービスの提供、効率化による財政基盤の強化、専門職員の配置などでの行政水準の向上、地域のイメージアップによる活力の強化がある。

問 デメリットは。

答 政策推進室長 きめ細やかな行政サービスの困難化、地域アイデンティティの希薄化、地域全体の格差発生やまとまりの欠如など。

自主財源の確保は

問 企業誘致・留置についての新しい施策は。

答 総合調整幹 立地可能

な業種の拡大、庁舎内に新たな相談窓口の設置、県の保有する情報とのマッチング、町の利便性の向上や企業訪問での情報収集など。

問 大規模な土地利用計画の変更は考えていないのか。

答 都市計画課長 早急に行う事は考えていない。

問 土地区画整理事業による人口増加は一定の成果を収め、今後はあまり見込めなくなると考える。これからの町の人口増加、もしくは維持のための施策は。

答 政策推進室長 魅力的な子育て環境の整備により、若い世代の転入、定住を促していきたいと考えている。

その他の質問

①学習支援②給食費無料化③高校生までの医療費無料化について

3 土地利用構想図





日本共産党
吉村美津子
よしむら みつこ

事務用品通信販売の大型物流倉庫の火災 子供の貧困対策



2月16日午前、上富にある事務用品通信販売の大型物流倉庫で火災が発生。床面積約4万5000㎡が焼損。速報値では、初日に消防本部から57台、消防団から13台の消防車が消火活動にあたった。22日午前9時半に鎮圧、28日の17時に鎮火した。

問 入間東部地区消防組合だけでは鎮火できなかつた。今後、大型施設の開発許可は慎重に対応すべきでは。

答 町長 今回の件に限らず法令に基づいて許可していきたいと思う。

問 建物は巨大であり、窓が小さかったために、燃焼物に直接放水が届かなかつた。7万種類に及ぶ商品が保管されており、プラスチック樹脂などが多かつた。建物の構造、商品の保管体制、開発許可、建築許可などを検証すべきでは。

答 都市計画課長 国・県等が、今後検証を行うので、まだ分からない。

問 黒煙による健康への不安がある。焼却灰の調査は。

答 環境課長 業者と検討。

子供の貧困対策

問 収入の少ない家庭のもとで暮らす子供が増えている。子供の貧困に関して調査を実施すべきでは。

答 福祉課長 基本的な施策の主体は埼玉県なので、県と協議したいと考える。

問 毎日子供たちに必要な食事を届けるために公的な制度にしていくことが大事。給食センターを使って、朝食が夕食の提供をしては。

答 福祉課長 難しい問題と思う。地域福祉の課題としてとらえるべきと思う。

問 貧困の調査後、経済的支援は何が喜ばれるか、聞いて欲しい。その上で、現金給付を提案するが。

答 福祉課長 現金給付は難しいと思うが、その時に考えていきたい。



事務用品通販会社の火災



視覚障がい者・高齢者へ読み書き支援を 教員の多忙化改善を



日本共産党
本名 洋
ほん な ひろし

問 障害者差別解消法の制定、高齢者の増加を背景に、目が不自由な人への行政としての責任をどのように考えるか。

答 福祉課長 あいサポート運動を推進し、障がい者への理解と必要な配慮を普及させる取組みを行っている。参加者を増やしたい。

問 公立図書館として読書権についてどのように考えるか。

答 図書館長 福祉課と連携し、町内の障がい者の読書活動の要望と実態を調査し、図書館における障がい者サービスの研究と推進に努めていきたい。

問 障がい者・高齢者に本貸し出しの宅配をしてはどうか。

答 図書館長 財政上難しいが、調査研究していききたい。

問 障がい者・高齢者の図書利用について、町長はどのように考えるか。

答 町長 障がい者・高齢者へのサポートがまだ少ないのではと思う。できることがあれば進めて行きたい。

教員の多忙化について

問 教員の多忙化が問題になっているが、担当課の認識は。

答 学校教育課長 学校現場での負担軽減は喫緊の課題と認識し、業務改善に取り組んでいる。

問 取組みの効果は。

答 学校教育課長 平成28年6月から統計を取り始めた。教職員184名中、正規勤務時間外の在校時間が20時間未満の者が2.8%であったものが、平成29年1月には45.1%に、80時間以上の者が47.5%から5.4%に減少した。

その他の質問

三芳スマートICによる企業誘致について



視力の弱い方が読みやすい大活字本（町立中央図書館）



日本共産党
増田 磨美
ます だ ます み

町は、子育て支援とどう向き合う

高齢者が安心安全に暮せる町に



問 町は、公立第2保育所の民営化を決め、在所者を対象に1月に説明会を行ったが保護者からはどのような質問や意見があったのか。

答 **こども支援課長** 一番多かった意見は、今後に向けてのプロセス、ガイドラインの策定に関してで、内容はできてはいるのか。今後誰がどのように作成するのか。事業者の選定方法については、保護者の意見を反映できるようにしてほしい。今後のスケジュールは、子ども達への影響がないよう最大限の努力してほしい。なぜもっと早く説明会が実施されなかったか等。

問 多くの市町村が保護者・学識経験者の意見を取り入れ、保育所選定方法や内容、民営化を行う場合の一定の基準、ルールについて条件や約束事が組み込まれているのがガイドラインだがどのように考えるか。

答 **こども支援課長** 資料を取り寄せたり、様々な方の意見、保護者や保育士の意見を聞きながら保育指針にのっとり策定していく。

問 私も以前伺ったが、保護者の質問「民営化で削減されたお金はどこに使われるのか」に対し回答は。

答 **こども支援課長** まだ、はっきり決まっていないが子ども子育て支援に使えるように努力していきたい。

高齢者の安心安全を守るためには

問 平成27年度から5年間の後期高齢者の数は毎年300人以上増えていくとみられており、事故・災害を考えると独居高齢者の状況調査を行うべきではないか。

答 **健康増進課長** 介護保険事業計画策定時アンケートでは、各地域の傾向は把握できたと思うが町全体を把握する事は必要なので調査は今後の課題としたい。



現在の公立第2保育所

樹木枯れ枝等の落下防止の対応について

景観と安全性のバランスは



問 枯れ枝等の状況把握は

答 **環境課長** 保存樹木・特別保存樹木・保存樹林については毎年外観診断、精密診断を行っている。ケヤキ並木通りについては、県と連携して定期的な枯れ枝処理や剪定を行っている。その他の樹木については危険性がある場合には所有者に対応をお願いしている。

問 枯れ枝落下による事故件数は。

答 **環境課長** 年間数件の物損事故が起きている。

問 事故の対応は。

答 **環境課長** 町職員が緊急対応し、それぞれの所有者に引き継いでいる。

問 保険の加入は。

答 **環境課長** 県所有は県で、町は保存樹木390本のうち275本、保存樹林は全体で加入している。

問 枯れ枝落下を未然に防ぐための対策は。

答 **環境課長** 特に高齢化が進んだ樹木については強めの剪定の検討が必要だと考えている。

問 事故を未然に防ぐために、隣地者等から樹木伐採

の依頼があるのか。

答 **環境課長** 町に対し年間3、4件の伐採の依頼がある。

問 その場合、所有者にはどのように伝えるのか。

答 **環境課長** 民有地で個人所有の場合であれば剪定管理を自己負担でお願いしている。

問 事故時や樹木伐採時には所有者に負担がかかるが軽減策は。

答 **環境課長** 今後は、所有者の負担軽減を図るため助成制度を検討していく必要があると考えている。

問 景観とのバランスは。

答 **環境課長** 安全性を優先しつつ、自然景観とのバランスを検討し、保存樹林等の剪定管理や補植事業を行っている。



枝の落下が心配される樹木



久保 健二
くぼけんじ

子ども・高齢者・町民にやさしいまちづくり

通学路の現状、自転車事情等、安全対策は



問 以前から挙げられていた危険箇所18か所は整備等、課題はクリア出来たのか。

答 道路交通課長 ガードレールの設置、区画線の路面表示、看板での注意喚起等で16か所は対応済み。未整備の県道2か所も引き続き県へ要望していきたい。

問 今後、新規危険箇所として挙げられている箇所は。

答 道路交通課長 平成29年度から平成33年度の計画で小中学校から17件挙げられている。学校別では三芳小学校5件、藤久保小学校4件、竹間沢小学校4件、三芳東中学校3件、藤久保中学校1件挙げられている。

問 幹線15号線の道路の幅員、歩道設置に関して最低でも人の歩けるスペースの確保が必要と以前から質問が続いているが進捗状況は。

答 道路交通課長 平成24年3月から6度に渡り質問をいただいている。車両、歩行者の量が多く、且つ沿線には住宅、事業所も立ち並んでいる。何等かの対策を要すると考えている。

問 鶴瀬駅西通り線の工事を完了後、国道254号線交

差点改良後の幹線19号線の今後の安全対策は。

答 道路交通課長 幹線1号線の国道から幹線5号線まで約560mの区間は幅員4.0〜5.5mだが、交差点の改良後、交通量や利用状況を把握し、対策を検討する。

問 自転車歩行者道として認可を受けている歩道や、3m以上確保できている歩道は何か所あるのか。

答 道路交通課長 自転車歩行者道は16か所、3m以上確保できている歩道は3か所。

問 自転車通行帯の表示を提案してきたが進捗状況は。

答 道路交通課長 モデル的に実施していきたい。

その他の質問

①学習支援②貧困対策について



変則な交差点になることが予想され、十分な安全対策が今後の課題
歩行者が通行するスペースがなく危険!幅員の拡幅、歩道整備が必要な幹線15号線

傍聴席から

3月定例会を傍聴された方からご意見・ご感想をいただきました。



心強く思いました。これからも、介護する方が追いつめられないサポートをお願いしたいと思います。

(藤久保 Yさん)

今後高齢者が多くなるので交通機関を考えていく最重要課題とします。

(無記名)

三芳スマートICフル化は三芳町の発展に大きく寄与するものと思えました。物流の拠点としての立地条件に適し、経済の発展に結びつくものと思う。今後の三芳町の取組みに期待します。

(北永井 Fさん)

議場が明るく、さわやかな感じが好感持てました。日曜日だったせいか傍聴席がいっぱいで席が付加されるほど驚きました!

(藤久保 Sさん)

3月定例会の傍聴者数

	日程	人数
本会議	3月1日	0
	3月2日	7
	3月3日	13
	3月5日	56
	3月6日	23
	3月16日	0
	3月24日	3
	合計 (うち休日議会56名)	102
委員会	3月2日 (総務)	0名
	3月3日 (広報)	0名
	3月6日 (全協)	0名
	3月7日 (予算)	0名
	3月7日 (議運)	0名
	3月9日 (厚生)	0名
	3月10日 (予算)	1名
	3月13日 (予算)	0名
	3月14日 (予算)	0名
	3月16日 (予算)	0名
	3月16日 (議運)	0名
	3月17日 (全協)	0名
	3月21日 (総務)	0名
	3月24日 (議運)	0名
	合計	1
	合計	103